



SMILE があふれ、HAPPY を感じられる学校



ニューヨーク日本人学校学校だより

平成 29 年 (2017 年) 4 月 28 日 (第 2 号) 文責 校長 小島 昇

学校だよりのタイトルを決定しました。「ニューヨーク日本人学校学校だより」はそのまま残し、本年度のキーワードである SMILE と HAPPY をサブタイトルとして入れました。

「SMILE があふれ、HAPPY を感じられる学校」は、本年度めざす学校づくりのイメージです。このイメージをどう具現化していくことができるか、教職員とともに考え、実行してまいります。もちろん、子供たちにも考え、行動することを求めます。そして、保護者の皆様も協働するパートナーとして、このイメージの共有をお願いいたします。

「校長先生！

SMILE と HAPPY があるよ！」

4 月 14 日の昼食は、満開の桜のもと、初等部と中等部が合同で「お花見ランチ」を楽しみました。

そのときのことで、子供たちが食べているところを巡っていると、中等部の生徒から声をかけられました。「校長先生！ SMILE と HAPPY があります！」... 見ると、彼女たちが座るレジャーシートに「HAPPY & SMILE」の文字が並んでいます。「make friends」という表現もありました。



「HAPPY & SMILE」という文字との偶然の出会いでしたが、生徒が SMILE と HAPPY を心に留めて、通り



がかりの私に教えてくれたことで、とても温かい気持ちになりました。

SMILE で HAPPY に過ごすために

どの教室にも、子供たちが書いた 1 学期のめあてが掲示されています。初等部のある教室に、次のようなめあてがありました。

毎日、スマイルでハッピーに過ごす。
そのために休み時間は、友達となかよく遊んだり、相手のことを考えて行動したりする。

私が伝えている願いを受けて、自分のめあてを設定していることに感心させられました。さらに、スマイルでハッピーに過ごすために、具体的にどうしようとしているかを記述している点が素晴らしいです。

SMILE と HAPPY が、少しずつ子供たちに浸透していていることに嬉しくなりました。

避難訓練

児童生徒が安全に登下校し、安心して学校生活を送ることができるようにすることは、何よりも優先されなければならないことです。

4 月中に 2 回の避難訓練を実施しました。火災等が発生した際に、校舎から外に逃げるための基本的な避難経路確認訓練とスクールバスから退避するための訓練です。

今後も、児童生徒が緊急時に適切な行動をとることができるよう、様々な状況を想定した訓練を繰り返し実施する計画です。



《平成 29 年度学校経営計画の概要》

本校の教育目標

心身共に健全で、自らを高めていく意欲とたくましく生きる実践力を身に付けた国際性豊かな児童生徒の育成を図る。

GJS: Shaping the world!

育てたい児童生徒像

- 1 進んで学習し、最後までやりぬく気力をもつ児童生徒
- 2 思いやりの心をもつ児童生徒
- 3 健康な体をもつ児童生徒
- 4 アメリカ社会を理解し、国際性を身に付けた児童生徒

SMILE があふれ、
HAPPY を感じられる学校

本年度学校経営6つの重点と17の努力点

1 安全・安心な学校づくり

- ① 教職員の危機管理意識の向上と施設・設備の安全管理
- ② 児童生徒への安全教育の充実（避難訓練の充実等）
- ③ 人権教育の徹底

2 確かな学力の向上を図る教育活動

- ④ 基礎・基本の定着
- ⑤ 自ら学ぶ力を身に付け、高め合う授業の実践
- ⑥ 英語教育の充実
- ⑦ 進路指導の充実

3 豊かな心の育成をめざす教育活動

- ⑧ 自己肯定感の醸成
- ⑨ 喜びと感動を味わうことのできる活動・体験
- ⑩ 道徳教育の推進

4 体力の向上を図る教育活動

- ⑪ 運動機会の確保・充実

5 特色ある教育活動

- ⑫ 特別支援教育の充実
- ⑬ 小中一貫教育及び異学年交流
- ⑭ アメリカ社会の理解と国際性の育成

6 教師が自らを磨く研修の充実

- ⑮ 校内テーマ研修の全員授業
- ⑯ 現地理解教育の推進
- ⑰ 次期学習指導要領の理解

PTA 総会でお話しさせていただいたこと

「SMILE があふれ、HAPPY を感じられる学校」を実現するために、その基盤として「協働」を大切にしたいと考えています。「協働」とは、同じ目的のために、協力して働くということです。

協働は二つの側面で必要になります。一つは、目標を共有した教職員集団による協働です。チームワーク良く、しっかりとスクラムを組んで教育活動に取り組みます。

もう一つの側面は、学校と保護者の皆様との協働です。学校と保護者は、子供のより良い成長という目標と責任を共有できる関係であると考えています。必要になったときに連携すると考えるのではなく、日常的なつながりを持ち、協働の関係を構築していきたいと思えます。

お気づきの点がございましたら、協働するパートナーとして、ご相談やご提案をお願いいたします。

5月行事予定

※ホームページ版には掲載していません。

